

## 令和8年度 スポーツ推進本部 予算案の概要

(単位：百万円)

区 分	令和8年度	令和7年度	増(▲)減	増減率	主な内容
スポーツ推進本部 計	24,011	46,799	▲ 22,788	▲48.7%	世界陸上・デフリンピックに関する経費及び辰巳アイスアリーナ整備費を除いた前年度予算：22,286百万円（前年度比+7.7%）
スポーツ推進費	24,011	46,799	▲ 22,788	▲48.7%	
管 理 費	3,981	5,354	▲ 1,374	▲25.7%	人件費 等
スポーツ総合推進費	10,631	28,711	▲ 18,080	▲63.0%	スポーツ振興、パラスポーツ振興、国際スポーツ大会等
ス ポ ー ツ 施 設 費	9,399	12,733	▲ 3,335	▲26.2%	都立スポーツ施設

※ 計数については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

## スポーツ振興のための施策

⑧106億3,118万円（⑦287億1,104万円）

世界陸上・デフリンピックのレガシーを未来に継承し、誰もがスポーツを楽しめる「スポーツフィールド・東京」の実現に向けて、都民の健康増進やパラスポーツの振興、国際スポーツ大会等の誘致・開催の促進に係る施策を展開

### 令和8年度の主な取組

#### 1 スポーツの振興

⑧60億1,757万円（⑦35億8,189万円）

##### ■都心における新たなスポーツ環境創出事業 ⑧9,900万円 【新規】

世界陸上とデフリンピックでも活用したKK線において、両大会の周年事業として、親子や女性が参加しやすいランイベントや、ユニバーサルコミュニケーション(UC)技術の体験会等を開催し、大会レガシーの定着と都民のスポーツ実施を促進

##### ■スポーツ女性コンディショニングサポートサイト事業 ⑧2,479万円 【新規】

スポーツに取り組む全ての女性を対象としたコンディショニング情報の特設サイトを開設するほか、若年層や指導者向けに学習動画を制作し、SNS等により女性の心身の健康に関する情報を効果的に発信

##### ■ジュニアスポーツエール事業 ⑧12億5,000万円 【新規】

東京2020大会5周年を契機として、地域で子供たちを対象にスポーツ大会等を開催する団体等に対して、競技用具等の費用を補助するとともに、子供たちのスポーツ活動を支える保護者等の経済的負担の軽減を図るなど、ジュニアスポーツの裾野拡大につながる支援を実施

##### ■T O K Y O 推しスポーツディスカバリー事業 ⑧8,500万円 【新規】

オリンピック等による出張スポーツ教室の開催や、プロスポーツチーム等と連携したバックヤードツアー付き観戦プログラムの実施、フィジカルリテラシーの涵養に資する情報発信等、子供たちがスポーツをより身近に感じられるコンテンツを多面的に提供

##### ■都のスポーツ振興におけるeスポーツの活用 ⑧9,769万円 【新規】

スポーツ振興施策の充実や、高齢者・障害者の社会参画にもつながるeスポーツの取組を推進するため、関係団体と連携した競技会や都民向け体験会を開催

■全国健康福祉祭(ねんりんピック)東京大会開催準備 ⑧3億9,901万円 【新規】

令和10年度に開催されるねんりんピック東京大会に向け、シンボルアスリートの発掘や、各種展示会での高齢者のQOL向上につながる先端技術のPR等、大会気運の醸成を通じて新たな健康長寿社会モデルの構築につながる取組を展開

■スポーツを通じた健康増進事業 ⑧7,202万円 (⑦6,074万円)

都民の運動サイクル創出に向け、年代や体力に適した体力測定メニューの検討のほか、ねんりんピックとの連携によりシニア向け普及啓発を強化

■スポーツ空間リノベーション補助事業 ⑧6億417万円 【新規】

区市町村が行うスポーツ空間の拡充や機能強化に資する取組を後押しするほか、ねんりんピック大会使用施設の整備促進に向けた重点的な支援を実施

■区市町村スポーツ推進補助事業 ⑧3億4,700万円 (⑦3億4,700万円)

スポーツ環境の拡大やパラスポーツの普及促進に向けて区市町村が行う施策を支援する取組について、ねんりんピック東京大会に向けた気運醸成や施設のユニバーサルデザイン化に関する支援を重点化

■競技団体組織基盤強化支援事業 ⑧1億985万円 (⑦4,985万円)

スポーツ関係団体が集中して競技力向上や競技普及に取り組める環境を構築するため、新たに団体の事務負担軽減や組織基盤強化に資するバックオフィス支援を実施

## 2 パラスポーツの振興

⑧21億5,815万円 (⑦18億5,908万円)

■東京パラアスリート強化事業 ⑧1億2,060万円 (⑦1億2,099万円)

デフリンピックを契機に、パラアスリートの遠征費・用具費等に対して支援を行う対象競技のうち、デフスポーツの競技を拡充

■パラスポーツ競技団体都内活動促進事業 ⑧4,445万円 【新規】

パラスポーツ中央競技団体が行う都内での強化活動や関係団体との連携を支援することで、国際大会において活躍する東京ゆかりのパラアスリートの発掘・育成を促進

■パラスポーツ団体普及活動支援事業 ⑧1億887万円 (⑦1,739万円)

パラスポーツ競技団体等による障害のある方の身近な地域でのスポーツ実施に資する活動について、競技用具等に係る経費も対象とするなど、東京2020大会5周年の機を捉えた支援を実施

■都立特別支援学校活用促進事業 ⑧4億3,537万円 (⑦4億259万円)

特別支援学校において体育施設の貸出やパラスポーツ等の体験教室を行う対象校を拡大するとともに、東京2020大会5周年の機を捉えて、体験教室の協力団体に対する教室開催に必要な競技用具等の確保に係る支援を拡充

■パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」 ⑧4億5,883万円 (⑦4億1,900万円)

パラスポーツへの関心喚起、応援気運の醸成に向けた動画配信やパラスポーツ体験会に加え、UC機器やAIデバイスを活用した観戦会を実施するほか、パラスポーツ競技団体と企業とをつなぐマッチングプラットフォームを運用

### 3 国際スポーツ大会等の開催

⑧21億1,568万円 (⑦228億5,849万円)

■国際大会の誘致・開催支援 ⑧7億2,435万円 (⑦2億9,112万円)

大会の開催規模や特性に応じて、支援上限額や補助率を見直すほか、UC技術の活用や競技中継に対して支援額の加算を行うなど、多種多様な国際大会の誘致・開催に向けた戦略的な支援制度に再構築

■愛知・名古屋2026アジア競技大会を契機としたスポーツ気運醸成 ⑧8,578万円 【新規】

東京で開催される競泳・飛込(東京アクアティクスセンター)及び馬術競技(馬事公苑)において、世界陸上・デフリンピックでも取り組んだUC技術の活用や子供の観戦招待等を実施

■東京マラソン等の開催 ⑧5億2,564万円 (⑦4億3,607万円)

第20回記念大会の機を捉えて、誰もが東京マラソンを楽しめるイベント等を開催し、スポーツ都市としての東京の魅力を国内外に発信

■GRAND CYCLE TOKYOの推進 ⑧7億7,113万円 (⑦18億650万円)

臨海部において「レインボーライド」を開催するとともに、多摩地域で開催する「THE ROAD RACE TOKYO」に向けて開催準備等を実施

## 都立スポーツ施設の管理運営

⑧93億9,887万円 (⑦127億3,350万円)

東京のスポーツインフラの中核を担う存在として、スポーツを通じた様々な価値の提供、施設の幅広い活用を促進するとともに、施設の維持補修、機能向上等を通じて安全・安心・信頼のスポーツ環境を提供

### 令和8年度の主な取組

#### 1 スポーツ施設等の運営

⑧52億4,796万円 (⑦58億4,318万円)

■都立スポーツ施設等の運営 ⑧42億8,671万円 (⑦44億1,491万円)

都立スポーツ施設の指定管理料等

■都立スポーツ施設等の維持管理 ⑧1億2,514万円 (⑦5,127万円)

施設の計画的な維持管理のほか、授乳ブースの設置などにより、施設の利便性を向上

■都立スポーツ施設の戦略的活用 ⑧1億8,033万円 (⑦1億3,396万円)

都立スポーツ施設が持つポテンシャルの発揮や価値向上に向けて、各施設の魅力発信や共通コンセプトによる催しに加え、各施設の利用促進に向けたロケーションサービスなどの取組を展開

#### 2 スポーツ施設等の整備

⑧40億2,642万円 (⑦67億6,625万円)

■味の素スタジアム大型映像装置改修 ⑧5億6,240万円 (⑦3億6,960万円)

味の素スタジアムの大型映像装置の更新工事を実施

■アクアティクスセンター等舗装型太陽光発電設備の整備 ⑧1億8,950万円 (⑦500万円)

都有施設における「カーボンハーフ」の達成に向けて、東京アクアティクスセンター及びカヌー・スラロームセンターについて舗装型太陽光発電設備を設置

■都立スポーツ施設における暑さ対策 ⑧7,290万円 **【新規】**

カヌー・スラロームセンター等、屋外施設における日よけ屋根の整備に向けて設計等を実施